第23回尾道市長旗争奪シニア野球大会要綱

主　　催・尾道リトルシニア野球協会

後　　援・一般財団法人 日本リトルシニア中学硬式野球協会関西連盟中国支部
尾道市・尾道市教育委員会・尾道市体育協会・尾道ケーブルテレビ

会　　場・しまなみ球場・三原市民球場・尾道商業高校・尾道高校・盈進高校
興譲館高校・井原運動公園・三菱三原長谷

大会運営・［参加チーム］　28チーム
関西連盟（中国10・近畿10・四国5）・東海連盟（3）
［試合形式等］
（1）期　日　平成28年８月６日（土）～７日（日）
第１日目　７会場、各４チームに分かれて予選トーナメント戦（決勝トーナメント戦進出は、各会場の１位チームのうち得失点差の多い上位４チームとする。なお、得失点差が同じときの順位は、「①総失点の少ない ②総得点の多い」の順によって決定する。）
第２日目　準決勝・決勝戦（３位決定戦は行わない）
予選敗退チームによる交流戦
（2）この大会は、日程の都合上つぎの特別規定を定め、関西連盟大会規定に基づき実施します。
①　試合は７回戦とする。ただし、決勝戦を除き５回以降７点差をもってコールドゲームを採用する。
②　予選トーナメント戦は、時間制を採用し試合開始後２時間を経過して新しいイニングに入らない。時間切れ同点のときは、最終出場メンバー18名による抽選で勝敗を決定する。
③　準決勝・決勝戦は、延長９回を終了し又は試合開始後２時間を経過し同点のときはタイブレーク（１死満塁、最長３回）を行い、さらに同点のときは最終出場メンバー 18名による抽選で勝敗を決定する。
④　投手の投球制限を採用し、日本中学硬式野球協議会で制定されたものを適用する。
⑤　規定の広さ、囲いのない球場での試合は、特別グラウンドルールを定める。このルールは、試合開始前に各会場の審判員より説明する。
⑥　試合前のシートノックは７分間とする。
（3）大会第１日目の各試合の塁審・ＳＢＯは、各チーム２名協力願います。
（4）１試合につき各チーム試合球（メーカー指定なし）３個を拠出願います。
（5）各試合の進行は、各チームのアナウンス担当者に協力願います。
（6）試合前のグラウンド整備は、両チームの選手に協力願います。

表　　彰・団体；優勝・準優勝・第３位／個人賞；最優秀選手賞・優秀選手賞・敢闘賞